



作者の言葉
我が百合丘ロータリークラブのシンボルマーク百合の花は、地味には有り様だが、この多岐上には、あまのこに見えぬ、上品な姿に、知る化の落により、花され少く、初見こそ、ちとと敬慕する。白の小路にその香りの清風を、いよ、清純な乙女を感じさせよう、とある。昭和五十四年春吉日 大友五

Weekly Report

2016～2017年度

平成28年9月20日(火) 第1828回例会

◆会長：北島 克己 ◆幹事：親松 裕明 ◆会報：中村 和広

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第1828回例会記録 平成28年9月20日(火) 11/48回

<点鐘> 北島会長
<ソング> 我等の生業
<お客様ご紹介> 北島会長
米山奨学生 傅嘉巍君

会員、尾崎会員、坂井会員、嶋会員、白井会員、菅会員、鈴木文夫会員、鈴木清会員、渡邊会員、結城会員、安藤亨会員。

<会長報告> 北島会長
先に持ち回り理事会報告です。
・kirara@しんゆり協賛金の件 承認いたしました。
・指名委員会の発足に伴い、鴨志田会員に指名委員長を依頼いたしました。
以下、会長報告です。

<出席委員会> 結城委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1828回	42	30	12		71.43%
第1827回	42	31	11	2	78.57%

1. クラブ国際奉仕委員長会議開催の件
10/13(木) 15:00～17:00 メモワールプラザソシア21 安藤亨国際奉仕委員長に依頼いたします。
2. 『ロータリーの友』アンケート協力をお願い
3. 社会を明るくする運動推進委員会における「あさお区民まつり」啓発運動の実施について
10/9(日) 集合9:15 麻生区役所前12番テント

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	28件	28,000円	326件	367,080円
財団	0件	0円	10件	138,000円
ベネファクター	0件	0円	0件	0円
米山	0件	0円	11件	140,000円

<幹事報告> 親松幹事
*例会変更 川崎麻生RC 川崎高津南RC

本日のプログラム

<ニコニコ委員会> 安藤亨委員長
北島会長、親松幹事→「本日、財団委員長、米山委員長、委員会報告よろしくお願ひいたします」。清水会員→「楽しい店舗を作ります」。以下、感謝をこめてニコニコへ。安藤美恵子会員、安藤志子会員、福家会員、畠山会員、井上久会員、井上勇会員、石野会員、石坂会員、鴨志田会員、勝田会員、小林会員、小島会員、中島健児会員、中島眞一会員、野島

<委員会報告>

米山奨学委員会

先日の委員長会議の冒頭で『世界に羽ばたく米山』というビデオを観ました。今年6月に行われた国際ロータリー大会で、幾つかの取り組みが初めて執り行われ、変化があったという事で紹介されました。

石野委員長



- 第1830回 10月4日 委員会報告⑦ 社会奉仕委員長
- 第1831回 10月11日 招聘卓話② 米山奨学会関係者
- 第1832回 10月18日 クラブフォーラム②

ビデオの内容は、ロータリー財団奨学生にしか認められなかった国際ロータリー大会参加費優遇制度が日本独自制度の米山にも適用になり、米山学友の方にとってはとても意義のある変化となったこと。これを機に国際ロータリーで様々な取り組みが行われ、今までもブース出展等ありましたが、初めて文化会を持ち米山の制度を広く世界のロータリーの方に知って貰うこととなったこと。また前夜祭として合同懇親会を行ったということです。これを観て感じたことは、米山の方々がとてもロータリーの帰属意識を持っていて熱い思いがあるという事を実感いたしました。学友の冊子が事務局にありますのでぜひご覧ください。

【活動方針】

◆選考面…多様な地域からの受け入れを推進
現状、中国・韓国からの受け入れが多い為、米山奨学の方が世界の架け橋になって欲しいという観点から出来るだけ多様な地域からの受け入れが必要とのこと。指定推薦校にも理解いただき、また海外からの直接応募の検討、クラブ推薦があれば個別にも検討、グループ討議などで今までに無い専攻方法を取り入れる、などのお話がありました。

◆奨学生の証明書の発行
今年度からカードを発行して帰属意識を高めたい。

◆寄付
第2590地区は寄付実績が高く、特に個人寄付が突出して高い実績になっており、米山の活動の理解が進んでいる事で、このまま維持継続を願っております。今年度目標：一人当たり普通寄付5,000円 特別寄付20,000円 寄付を推進するというのは、米山の制度そのものの理解を深めるといのが一番重要かと思えます。他の制度との一番の違いは、例会への出席やロータリアンが親身に接したりと、ロータリアンの関与がある事です。中国の学友の卓話で、日本のイメージは小さい頃はアニメの影響でとても良い印象であったのが、国内で育つうちにイメージが悪くなり、二つのイメージが同居する中自分の目で確かめたいと思って奨学生になり、来日の結果今後は日本の良いイメージを伝えていきたいと、話していたのが印象的でした。こういう事が米山が目指す草の根的な活動で理解が深められたらと思いました。

ロータリー財団委員会

今年度はロータリー財団100周年で、イベントも多々あるので出来るだけ多く参加してほしいと高良ガバナーよりお話がありました。

嶋委員長



【補助金分配の方法と実施計画】

◆会費と寄付金 会費の分類は地区資金人頭分担金として、地区資金本会計として年15,000円、地区資金特別会計として12,000円、人頭分担金57.5\$。

ロータリー財団年次寄付年次基金寄付目標：年120\$以上。米山奨学金25,000円以上。

◆使用用途→地区補助金プログラム、グローバル補助金プログラム、ポリオプラス、平和フェローに使用され、特別会計には使用しません。年次寄付：第2590地区2015～16年度 338,873\$一人当たり160\$寄付がありました。去年は2013～14年度に集められた寄付が使われています。348,371\$で一人164\$です。去年は455,810\$使用されていて、第2590地区は資金活用が活発ですが、地区残額が21,484\$しか残っておらず財政もきつい現状です。

◆地区補助金…①ロータリー財団の使命に関連した、国内の社会奉仕、及び海外を対象としたプロジェクト。②ロータリアンが積極的に参加するプロジェクト。*使命：人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすること。

◆グローバル補助金…6つの重点分野に限りとなり(平和と紛争予防・紛争解決、疾病予防・治療、水と衛生設備、母子の健康、基本的教育・識字率向上、経済地域社会の発展)のいずれかに該当、実施国側に強い要望がある事、異なる二つの提唱者が絡むことが必要で、実施国側も資格認定を受けること、持続可能な影響をもたらすこと。

◆資金管理と監査…資金管理員会で適切に使用されたか、不正使用はないか、流用はないか審査されます。委員会メンバーは会計士、税理士など3人。

◆奨学金制度…グローバル奨学生は6つの重点分野に関わる事(親善と平和、教育、貧困の緩和、健康)、地区奨学金制度は専攻分野など制限はありません。*注意事項として、音楽・芸術は対象外、大学院または大学院以上相当の専門性の研究レベル、実施国の受け入れクラブが必要、ロータリー財団の承認が必要。地区奨学生は6つの重点分野以外の分野の研究。

◆VIT(職業研修チーム)…資金は全地区から集まっているが活用されていない地区もあるので出来るだけ多くの地区で活用して欲しいとのこと。

◆ロータリー平和フェローシップ…明日のリーダーを育てるため毎年100名のプログラム。平和と紛争解決の分野、修士号取得、専門修了証プログラムを支援する制度。全世界で5校、日本は国際基督教大学。

◆ポリオ・プラス…パキスタン、アフガニスタンで発症していて、未だ根絶してない状況です。

最後に卓話実施のお願いがあり、学友の方を呼ぶ予定ですので是非来られた際に、お話を聞いてください。